

第7回 減災フォーラム

韮崎市は、平成21年度に市民が安心して暮らすことのできる「減災力の強いまちづくり協定」を締結し、第1回減災フォーラムを開催しました。また、その翌年度には「減災力の強いまちづくり宣言」を掲げました。

さらに、その平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓に、地域防災計画を抜本的に見直す中で、防災・減災への具体的な目標と取り組みを掲げ、併せて継続して市民向けフォーラムを開催してまいりました。

今、日本各地で自然災害が多発する中で、多くの市民のご参加により、共に考え、気づき、行動しましょう。



開催予定日 平成28年2月21日(日曜日)

開催時間 受付開始 午後1時～

フォーラム 午後1時30分～午後4時00分

開催場所 東京エレクトロン韮崎文化ホール 小ホール(仮)

【プログラム】

◎ 開会セレモニー

(第1部) 経過報告と今後の計画

- 平成27年度の防災・減災の取り組みについて
- 今後の防災・減災への計画について

(第2部) 基調講演

- 演題 「あれから5年、

今、私たちに求められること ―東日本大震災の教訓―
東北大学災害科学国際研究所所長・津波工学教授

今村 文彦先生(甲斐市出身)

主催：韮崎市

共催：韮崎市地区長連合会、韮崎市女性団体連絡協議会

峡北広域行政事務組合消防本部

韮崎市自主防災組織連絡協議会、韮崎市地域減災リーダー連絡協議会

特定非営利活動法人減災ネットやまなし

後援：山梨県、NHK甲府放送局、山梨日日新聞社、山梨放送、テレビ山梨

なお、内容の一部が変更となる場合がございます。

お問い合わせ先：韮崎市役所 総務課防災交通担当

電話 0551-22-1111 (代表)



講師プロフィール

今村文彦：いまむらふみひこ

山梨県産まれ。甲府一高卒業，東北大学大学院博士課程修了。
東北大学工学部土木工学科助手，同大学院工学研究科附属災害
制御研究センター助教授，京大防災研客員助教授，教授を経て、
現在同災害科学国際研究所教授（所長）。

主な専門分野は津波工学、津波防災・減災技術開発、津波数値
解析を始めとした流体波動数値解析、津波被害調査など。東日
本大震災復興構想会議 検討部会，中央防災会議東北地方太平洋
沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会，宮城
県震災復興会議，気仙沼市中島海岸・津谷川 災害復旧事業に関
する検討会委員長などのメンバ平成25年，内閣府，防災功勞
者防災担当大臣表彰
平成26年，NHK 放送文化賞 などを受賞